

2019 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|---|------------|-------------|---|---------------|--|---------------|
| 学 科 | 視能訓練士学科3年制 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 実習 |
| 科 目 名 | 視能検査学実習 I | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年生 | | 学期及び曜時限 | 前期 木3限 | 教室名 | 1002および実習室 |
| 担 当 教 員 | 芝田順子 | 実務経験とその関連資格 | 1995年視能訓練士資格取得。急性期医療を担う一般病院で7年勤務。一般眼科クリニックで11年。現在の眼科にて3年目、公的機関の健診業務を兼務18年目。 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| ①ゴールドマン視野計の輝度調整、実測定の正しい行い方。②視野異常を伴う疾患、疾患名と視野異常の状態の知識。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 定期試験80% ゴールドマン視野計の計測実習結果提出 10%×2回(レポートを含む) | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 理解を深めよう視野検査/金原出版 現代の眼科学/金原出版 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 課題の提出が授業時間のみで難しい学生は、積極的に日課後に実習するよう努めて欲しい。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 自身が検査機器を直接触れない時間も、同じ班の学生の手技をよく観察すること。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ゴールドマン視野計の輝度調整、測定方法を覚える。 | 教科書 | 教科書P23～30動的視野検査読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 初回のこの回のみ講義、1年次の復習。ゴールドマン視野計の検査手順を確認する。 | | | |
| 第2回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 輝度調整、正常視野測定の測定ができる。 | 教科書 | 教科書P24,25輝度調整読んで覚えること | |
| | | 各コマにおける授業予定 | Aグループ 視野実習 正常視野測定① Bグループ 屈折矯正実習 | | | |
| 第3回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 輝度調整、正常視野測定の測定ができる。正常視野片眼20分目標。 | 教科書 | 教科書P82～105疾患別にみたゴールドマン視野計による検査の進め方読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | Aグループ 視野実習 正常視野測定② Bグループ 屈折矯正実習 | | | |
| 第4回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 輝度調整5分以内、正常視野片眼20分目標。 | プラスチックシート 教科書 | 異常視野測定のためのプラスチックシートを準備しておくこと 教科書P106～122疾患別にみたゴールドマン視野計の検査の進めかた読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | Aグループ 視野実習 正常視野測定③異常視野測定① Bグループ 屈折矯正実習 | | | |
| 第5回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 異常視野 狭窄時のアームの動かし方、暗点計測方法を学習する。 | 教科書 | 正常視野測定結果用紙提出 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | Aグループ 視野実習 異常視野測定② Bグループ 屈折矯正実習 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|--------------|--|
| 第6回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 異常視野測定 暗点計測を実際に疑似体験する。 | 教科書 | レポートの準備を始めること |
| | | 各コマにおける授業予定 | Aグループ 視野実習 異常視野測定③ Bグループ 屈折矯正実習 | | |
| 第7回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 異常視野測定 実習ノート記載を練習する意図でレポート課題に取り組む | 教科書 | レポート提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | Aグループ 視野実習 異常視野測定④ Bグループ 屈折矯正実習 | | |
| 第8回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | まとめ タイムを計って視野計測をする。 | 教科書 | ゴールドマン視野計の検査手技を復習しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | Aグループ 視野実習 まとめ Bグループ 屈折矯正実習 | | |
| 第9回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 輝度調整、正常視野測定の測定ができる。 | 教科書 | 教科書P24,25輝度調整読んで覚えること |
| | | 各コマにおける授業予定 | Bグループ 視野実習 正常視野測定① Aグループ 屈折矯正実習 | | |
| 第10回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 輝度調整、正常視野測定の測定ができる。正常視野片眼20分目標。 | 教科書 | 教科書P82～105疾患別にみたゴールドマン視野計による検査の進め方読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | Bグループ 視野実習 正常視野測定② Aグループ 屈折矯正実習 | | |
| 第11回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 輝度調整5分以内、正常視野片眼20分目標。 | プラスチックシート教科書 | 異常視野測定のためのプラスチックシートを準備しておくこと 教科書P106～122疾患別にみたゴールドマン視野計の検査の進めかた読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | Bグループ 視野実習 正常視野測定③異常視野測定① Aグループ 屈折矯正実習 | | |
| 第12回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 異常視野 狭窄時のアームの動かし方、暗点計測方法を学習する。 | 教科書 | 正常視野測定結果用紙提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | Bグループ 視野実習 異常視野測定② Aグループ 屈折矯正実習 | | |
| 第13回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 異常視野測定 暗点計測を実際に疑似体験する。 | 教科書 | レポートの準備を始めること |
| | | 各コマにおける授業予定 | Bグループ 視野実習 異常視野測定③ Aグループ 屈折矯正実習 | | |
| 第14回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 異常視野測定 実習ノート記載を練習する意図でレポート課題に取り組む | 教科書 | レポート提出 |
| | | 各コマにおける授業予定 | Bグループ 視野実習 異常視野測定④ Aグループ 屈折矯正実習 | | |
| 第15回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | まとめ タイムを計って視野計測をする。 | 教科書 | ゴールドマン視野計の検査手技を復習しておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | Bグループ 視野実習 まとめ Aグループ 屈折矯正実習 | | |